

科目区分	専門教育科目	科目名	介護総合演習Ⅳ		科目コード	17F610	担当者	荒木 正平、植木 明子、 田川 千秋			
対象学生	介護福祉士コース2年生	学期区分	後期	単位数	1	卒業要件	必修				
						免許・資格要件	介護福祉士必修				
科目の主題						学修成果との関連（大◎、中○、小△）					
介護実習4・5において実施した介護過程を事例研究にまとめ発表する。地域交流活動の企画立案と実施を行い、成果をまとめることを通して、地域において介護福祉士の果たす役割について理解を深める。						1. 「尽心」 誠実な人柄と人間力	2. 「創造」 高度な知性と創造力	3. 「実践」 明確な意思と実践力			
科目の到達目標						① 誠実性・真摯性	② 多様性・協働性	③ 知識・技能	④ 表思考・創判断力	⑤ 実行体力性・自立性	⑥ 就業力・貢献力
1.	実習を振り返り、事例研究報告を適切に作成できる。					◎	◎	○	◎	◎	○
2.	実習を振り返り、わかりやすい発表を行う（資料作成含む）。					◎	◎	○	◎	◎	○
3.	地域交流活動に主体的に取り組むことができる。					◎	◎	○	◎	◎	○
4.						◎	◎	○	◎	◎	○
5.						◎	◎	○	◎	◎	○
授業方法						成績評価の方法と割合					
事例研究のまとめに向けて、学生ごとの研究の進展状況を確認しながら個別指導を中心に実施する。地域交流活動は、学生の主体的な取り組みを重視した授業構成とし、地域福祉に関する理解促進を図る。						受講態度（20%） 提出物（40%） 発表内容（40%）					
準備学修						課題等への対応					
事例研究のまとめや研究発表にむけて、主体的に取り組んでください（授業前後の学習として30～40分程度）。地域交流活動の取り組みに向けては、まず、自身の生活する地域の特徴や学校周辺地域の現状に関心を向け、意識を働かせて、情報を集めてみましょう。						事例研究発表に向けた取り組みにおいては、各学生の状況に応じた個別指導を徹底して行う。地域交流活動の実施とまとめについては、学生が主体的に動けるよう助言・指導を適切に実施する。					
授業計画											
第1回	事例研究（報告書まとめ、発表会役割分担）、地域交流活動										
第2回	事例研究（報告書まとめ、発表原稿・パワーポイント作成）、地域交流活動										
第3回	事例研究（発表原稿・パワーポイント作成）、地域交流活動（活動準備・練習等）										
第4回	事例研究（発表原稿・パワーポイント作成）、地域交流活動（最終リハーサル）										
第5回	地域交流活動（サロン活動実施）										
第6回	事例研究（発表原稿・パワーポイント完成）、地域交流活動（振り返り・アンケート集計等）										
第7回	事例研究（発表リハーサル）										
第8回	事例研究発表会										
第9回	事例研究発表会振り返り（自己評価・相互評価アンケート等）										
第10回	地域交流活動（報告会準備）										
第11回	地域交流活動報告会										
第12回	地域に暮らす様々な人たちとその支援①										
第13回	地域に暮らす様々な人たちとその支援②										
第14回	地域に暮らす様々な人たちとその支援③										
第15回	地域に暮らす様々な人たちとその支援④										
教科書・参考書						受講生へのメッセージ					
新・介護福祉士養成テキスト 「介護総合演習」中央法規出版						事例研究のまとめや研究発表にむけて、主体的に取り組んでください。地域交流活動においては、地域の様々な人々の暮らしを支える制度に関する知識のほか、信頼関係を形成・維持するコミュニケーション力も求められます。					